

浅間神社古墳(大田区)

多摩川駅からすぐのここから浅間神社へ少し登って行く



嵯峨玉翁作ひな人形 製造元直売



田園調布の古墳の丘の氏神様

多摩川 浅間神社

主祭年中行事

1月	1月15日	初詣
1月	1月16日	初詣
1月	1月17日	初詣
1月	1月18日	初詣
1月	1月19日	初詣
1月	1月20日	初詣
1月	1月21日	初詣
1月	1月22日	初詣
1月	1月23日	初詣
1月	1月24日	初詣
1月	1月25日	初詣
1月	1月26日	初詣
1月	1月27日	初詣
1月	1月28日	初詣
1月	1月29日	初詣
1月	1月30日	初詣
1月	1月31日	初詣
2月	2月1日	初詣
2月	2月2日	初詣
2月	2月3日	初詣
2月	2月4日	初詣
2月	2月5日	初詣
2月	2月6日	初詣
2月	2月7日	初詣
2月	2月8日	初詣
2月	2月9日	初詣
2月	2月10日	初詣
2月	2月11日	初詣
2月	2月12日	初詣
2月	2月13日	初詣
2月	2月14日	初詣
2月	2月15日	初詣
2月	2月16日	初詣
2月	2月17日	初詣
2月	2月18日	初詣
2月	2月19日	初詣
2月	2月20日	初詣
2月	2月21日	初詣
2月	2月22日	初詣
2月	2月23日	初詣
2月	2月24日	初詣
2月	2月25日	初詣
2月	2月26日	初詣
2月	2月27日	初詣
2月	2月28日	初詣
2月	2月29日	初詣
2月	2月30日	初詣
3月	3月1日	初詣
3月	3月2日	初詣
3月	3月3日	初詣
3月	3月4日	初詣
3月	3月5日	初詣
3月	3月6日	初詣
3月	3月7日	初詣
3月	3月8日	初詣
3月	3月9日	初詣
3月	3月10日	初詣
3月	3月11日	初詣
3月	3月12日	初詣
3月	3月13日	初詣
3月	3月14日	初詣
3月	3月15日	初詣
3月	3月16日	初詣
3月	3月17日	初詣
3月	3月18日	初詣
3月	3月19日	初詣
3月	3月20日	初詣
3月	3月21日	初詣
3月	3月22日	初詣
3月	3月23日	初詣
3月	3月24日	初詣
3月	3月25日	初詣
3月	3月26日	初詣
3月	3月27日	初詣
3月	3月28日	初詣
3月	3月29日	初詣
3月	3月30日	初詣
3月	3月31日	初詣

月に一度はお参りしましょう
多摩川浅間神社
<http://tamogawashimajinjas.jp>



田園調布
多摩川浅間神社

浅間は八百平野の津島神社
浅間神社は、今から八百年前、鎌倉時代の末葉に
二八八の創始と伝えられ、本末の神として
豊島郡津島村に奉祀された。水の子を奉じて
奉祀された。わがしの神と仰せられ、やがてこ
の地に遷すことになった。
遷すにあつた津島山へ入つてある。大正十一年
かに見え、家々神社は守り、浅間神社
であります。浅間は、多摩川に奉祀され、其の
氏神は、水の子を奉じて、五穀の神として
奉祀された。村人は、この神を「五穀の神」と
よび、奉じて参りました。これが「多摩川浅間神社」
の由りです。
明治九年（一九一〇）五月、浅間神社の境内に工
事をして、大正十一年から、新調製の本末の工
事をして、奉祀された。多摩川に奉祀して、水
の子を奉じて、奉祀された。奉祀して、奉祀
月一日に奉祀されました。以来、神社の二階は、奉祀
に行われております。

一 浅間は水子奉祀の神
二 浅間は山岳の神
三 浅間は水子の神
四 浅間は水子の神
五 浅間は水子の神
六 浅間は水子の神
七 浅間は水子の神
八 浅間は水子の神
九 浅間は水子の神
十 浅間は水子の神
十一 浅間は水子の神
十二 浅間は水子の神
十三 浅間は水子の神
十四 浅間は水子の神
十五 浅間は水子の神
十六 浅間は水子の神
十七 浅間は水子の神
十八 浅間は水子の神
十九 浅間は水子の神
二十 浅間は水子の神
二十一 浅間は水子の神
二十二 浅間は水子の神
二十三 浅間は水子の神
二十四 浅間は水子の神
二十五 浅間は水子の神
二十六 浅間は水子の神
二十七 浅間は水子の神
二十八 浅間は水子の神
二十九 浅間は水子の神
三十 浅間は水子の神

一 浅間は水子の神
二 浅間は水子の神
三 浅間は水子の神
四 浅間は水子の神
五 浅間は水子の神
六 浅間は水子の神
七 浅間は水子の神
八 浅間は水子の神
九 浅間は水子の神
十 浅間は水子の神
十一 浅間は水子の神
十二 浅間は水子の神
十三 浅間は水子の神
十四 浅間は水子の神
十五 浅間は水子の神
十六 浅間は水子の神
十七 浅間は水子の神
十八 浅間は水子の神
十九 浅間は水子の神
二十 浅間は水子の神
二十一 浅間は水子の神
二十二 浅間は水子の神
二十三 浅間は水子の神
二十四 浅間は水子の神
二十五 浅間は水子の神
二十六 浅間は水子の神
二十七 浅間は水子の神
二十八 浅間は水子の神
二十九 浅間は水子の神
三十 浅間は水子の神

赤目二百(七) 手撮八時

歩行者天国
田園調布警察・田園調布協会

午前9:00 午後6:

左手に進む



補助員が立っている所に出る/正式な参道から撮影



鳥居に浅間神社とある



いくつもの鳥居がある







小神倉百尊

小天狗

大天狗

前方に社殿が見える



勝海舟直筆の富士講中興の祖「食行身禄(じきぎょうみろく)の碑」とある



社殿の下が後円部で、前方部は社殿の向こう側という





さまざまな石造物



5世紀末～6世紀初築造の前方後円墳という



子産石(子宝石)とある



拝殿、後ろに本殿の千木が見える/RC造/昭和48年完成/浅間造り



浅間造りとは神社本殿形式の一つで、桁行五間、梁間四間の構造の上に更に社殿を構成する二重構造の神社建築。他の二重構造においても浅間造と言われるという。



茂明申土の歴史
茂明申土の祭典
茂明申土の文化

茂明申土の祭典
茂明申土の文化

祭典	祭典	祭典
1月	2月	3月
4月	5月	6月
7月	8月	9月
10月	11月	12月

さくら絵馬
火焚串

初穂料 一枚 五百円
あなたの願を氏名を書いて
氏名を書いて絵馬掛けにかけて
願を成就をお祈りしよう

初穂料 一枚 三百円
折敷にお納め下さい。
折敷にはお納め下さい。











左手が拝殿、右手が本殿/本殿の右側が前方部であるが、東横線が通っており、そのほとんどが削られて消滅している



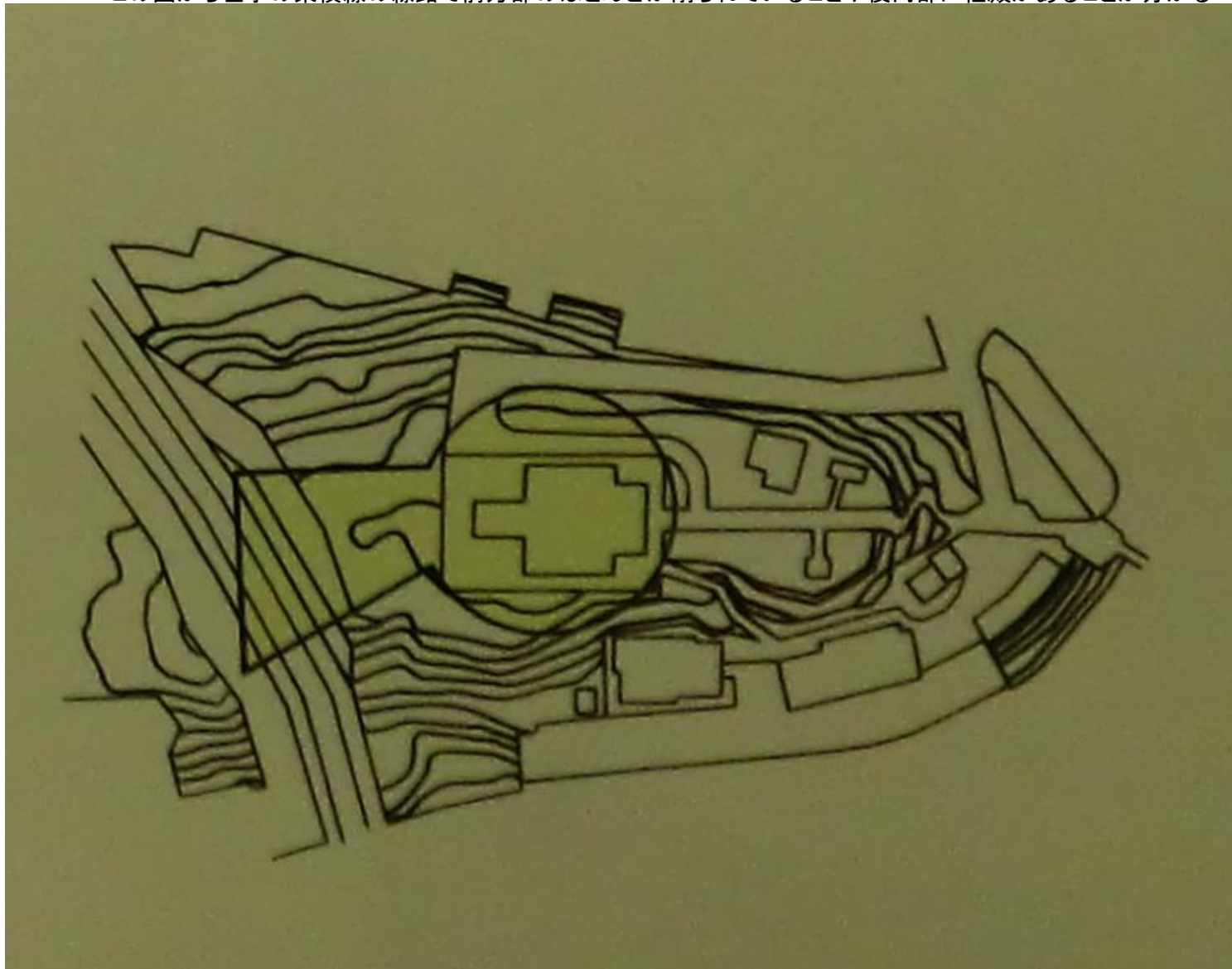
木々の隙間から、二層になった浅間造の本殿がみてとれる

都内では唯一の浅間造

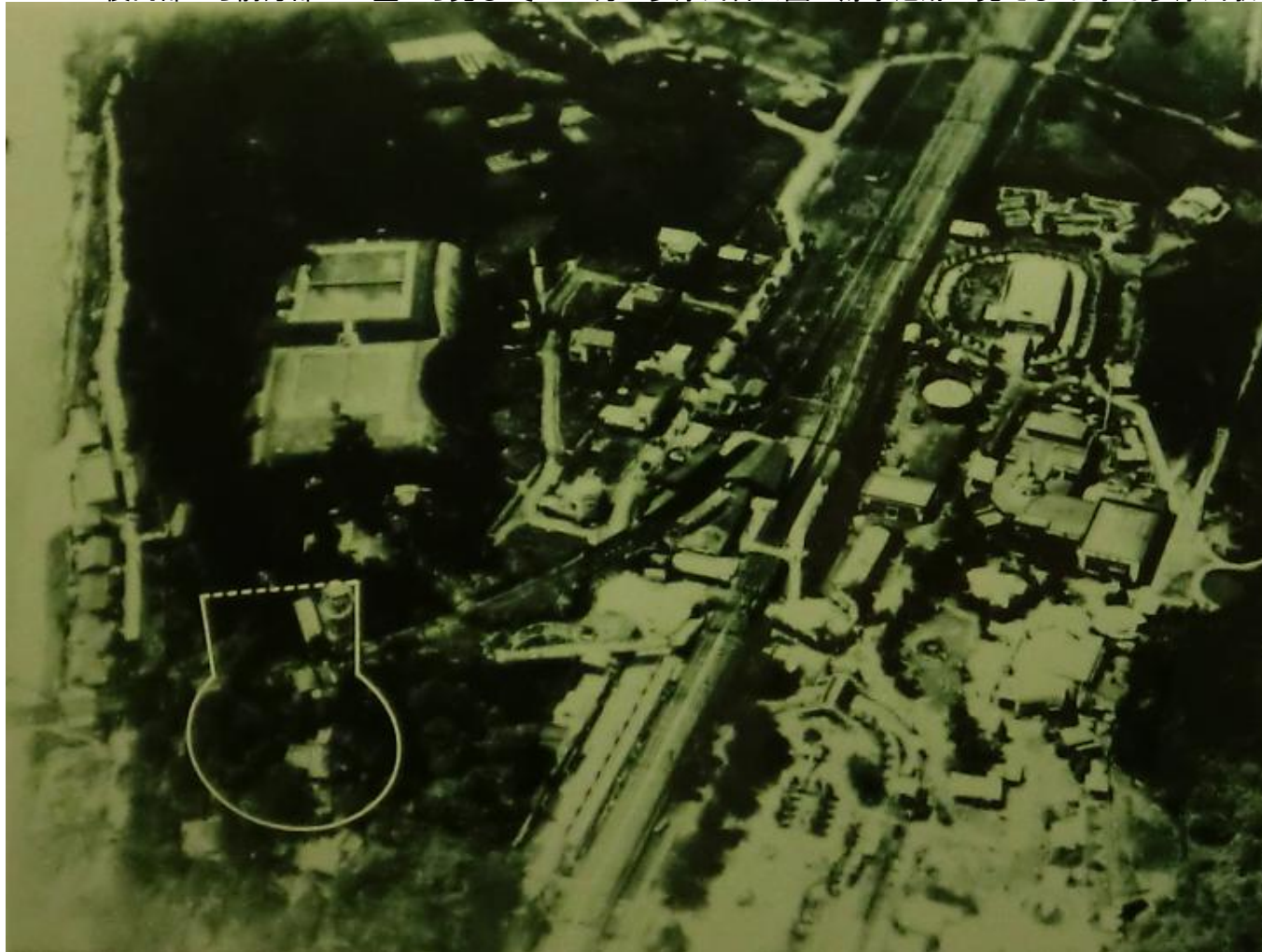


インターネットより

この図から左手の東横線の線路で前方部のほとんどが削られていることや後円部に社殿があることが分かる



後円部から前方部へ上空から見る/その上方に多摩川台公園の貯水池跡が見える/右手は多摩川駅



拝殿から参道方向を見る



社殿左手には多摩川越しに武蔵小杉方面が望める





富士塚であろうか



展望台まである



左手を見る



正面を見る



右手は社殿の後ろを走っている東横線



緑の矢印



参考ホームページ

<http://kofunnomori.web.fc2.com/tokyo/ota/sen.htm>

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/tokyo/23ku/senzin.html>